



平成 23 年 7 月 21 日

各 位

会社名 全日本空輸株式会社  
代表者名 代表取締役社長 伊東 信一郎  
(コード番号 9202 東証・大証各第 1 部)  
問合せ先 総務部長 丹治 康夫  
(TEL . 03-6735-1001)

### 子会社設立に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 7 月 21 日開催の取締役会において、AirAsia Berhad (本社：マレーシア クアラルンプール、グループ CEO：トニー・フェルナンデス、以下「エアアジア」) と共同出資して、子会社を設立することを決議いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

なお、本件による当期業績への影響はありません。また、平成 24 年 3 月期決算に関わる業績予想につきましては、開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

以 上



2011年7月21日

## ANAとエアアジア、『エアアジア・ジャパン』の設立に合意 ～成田空港を拠点とする初のLCC(ローコストキャリア)就航へ～

全日本空輸株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:伊東信一郎、以下、「ANA」とAirAsia Berhad(本社:マレーシア、クアラルンプール、グループCEO:トニー・フェルナンデス、以下、「エアアジア」)は、成田空港を拠点とするLCC(ローコストキャリア)を運営する共同出資会社、エアアジア・ジャパン株式会社(以下、「エアアジア・ジャパン」)を設立することで合意いたしました。

エアアジア・ジャパンは、成田空港を拠点とする初のLCCとして、エアアジアのブランドとサービスを用いて運航いたします。関係当局の許可を前提に、2012年8月の国内線および国際線の就航を予定しています。

航空の自由化の促進、鉄道・高速バスなど他の交通手段との競争激化もあり、国内航空業界を取り巻く環境は大きく変化しています。そうした中、首都圏の国際線の主要空港である成田空港では発着容量の早期拡大が計画されており、様々なLCCや外国航空会社の参入が予想されています。

ANAではこうした環境変化や新たなビジネスチャンスをにらみ、成田空港を拠点とした新たなLCCビジネスについて検討を重ねる中、既存のLCCブランドとの提携により短期間で新会社を立ち上げることが最善であると考えました。

ASEAN地域で最大の路線ネットワークを構築しているエアアジアでも、ASEAN諸国や東アジア地域における都市間アクセスの一段の向上を実現するために、日本市場に大きな影響力を持つビジネス・パートナーを求めていました。

今般、両社の考えが一致し、エアアジア・ジャパン設立の合意に至りました。エアアジア・ジャパンは、エアアジアのLCC事業のビジネス・モデルを導入することで、低価格のフライトサービスを提供し、新たな需要を創出してまいります。

ANAの伊東信一郎代表取締役社長のコメントは以下の通りです。

「エアアジアのブランドやビジネス・モデルと、ANAのノウハウを結集させ、新たな旅の楽しさ・スタイルをつくり出し、新規の航空需要を創出していきたくと考えています。このエアアジア・ジャパンが航空機利用をより身近なものとし、より多くの方々にとって便利で、気楽で、スピーディな交通手段になるものと確信しております。」

エアアジアのトニー・フェルナンデス グループCEOは以下のように述べています。

「今般、エアアジアのLCCビジネス・モデルを日本にも広げること、多くの方々に安い運賃でフライトサービスを提供できるようになることを大変誇りに思います。エアアジア・ジャパンは、ASEAN諸国や東アジア地域における都市間のアクセス向上のみならず、旅行、ビジネス、観光による地域の交流を拡大することで、地域の経済成長にも寄与できると信じています。今回は、世界的にも高い信用力を誇り成功を収めているANAに、パートナーとして選んでいただいたことを大変光栄に思います。今回のANAとの提携による、エアアジア・ジャパンの設立は当社にとっても重要な出来事となります。」



## <参考資料>

### 新会社の概要

- 商号： エアアジア・ジャパン株式会社（予定）  
所在地： 東京都港区東新橋 1-5-2（予定）  
事業内容： 航空輸送事業（国内線・国際線）  
出資比率： ANA 67% : エアアジア 33%  
（但し、無議決権株式を含めて、ANA 51% : エアアジア 49%）  
拠点空港： 成田空港  
資本金： 50 億円（予定）  
決算期： 3 月末
- ※ 代表者は今後設立準備組織にて決定致します。
  - ※ 新会社は、エアアジアのブランドおよびサービスによる運航となります。

### 今後の予定

- 2011 年 8 月： 会社設立  
2011 年 9～10 月： 事業許可申請  
2012 年 8 月： 就航開始
- ※ 関係当局の許可を前提としております。
  - ※ 就航開始が 2012 年予定のため、当期業績への影響はありません。

### ANA グループについて

ANA は営業収入で世界第 9 位、旅客数では国内最大の航空会社です。1952 年に設立され、現在 228 の旅客機を有し、国内外の 76 都市へ 164 路線を就航しています。従業員数およそ 33,000 人を抱え、毎日約 1,000 便のフライトを運航しています。2010 年には約 4,300 万人の旅客を輸送、営業収入は 1 兆 3576 億円に上りました。1999 年より世界最大の航空連合であるスターアライアンスの主要加盟航空会社であり、マイレージプログラム「ANA マイレージクラブ」の会員数は 2,100 万人を超えています。また ANA は、世界最新鋭の旅客機ボーイング 787 ドリームライナーのローンチカスタマーです。

### エアアジアについて

エアアジアはアジア最大の LCC(ローコストキャリア)であり、現在、アジア、オーストラリア、ヨーロッパの各都市を結ぶ約 160 路線を運航しています。就航開始以来 9 年間で旅客数は延べ 1 億 2,000 万人に達し、機体数は当初の 2 機から 104 機にまで拡大しました。エアアジアは現在、マレーシア、インドネシア、タイを拠点に全ての ASEAN 加盟国、中国、インド、スリランカ、オーストラリアにネットワークを有し、「ASEAN のエアライン」としての地位を確立しています。エアアジアは、Skytrax 社による「世界航空会社調査(World Airline Survey)」において 2009 年から 3 年連続で「世界ベストローコストエアライン(World's Best Low Cost Airline)」に選出されました。

※ 資本金:277.6 百万円(約 76 億円) 主要株主:Tune Air Sdn. Bhd ほか (2011 年 6 月 30 日現在)

### ≪報道関係者のお問い合わせ先≫

- ANA 広報室: 03-6735-1111 [publicrelations@ana.co.jp](mailto:publicrelations@ana.co.jp)  
エアアジア コミュニケーション部: +603 8660 4541 [cheahuijen@airasia.com](mailto:cheahuijen@airasia.com)  
クレアブ・ギャビン・アンダーソン: 03-5404-0640 [nwatanabe@kreabgavinanderson.com](mailto:nwatanabe@kreabgavinanderson.com)